

令和7年3月11日

4年 保護者の皆様へ

廿日市市立津田小学校
校長 小林 伸二

学力定着状況調査結果の通知について

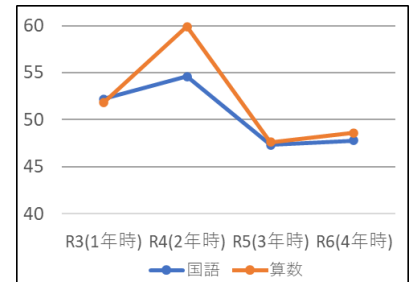
学力定着状況調査は、その学年における国語と算数の学習内容に対して、どの程度理解できているかを把握するため、1月に実施したものです。個人票には、総合及び観点別・領域別の得点と診断コメントが示されています。解いた問題用紙も配付していますので、今後の学習の参考にしてください。

調査結果の集計と調査結果から見た本校児童の学力状況や今後の取組についてお知らせします。

○ 調査結果集計（第4学年）

	国語			算数		
	平均正答率	基礎	活用	平均正答率	基礎	活用
本校	65.7	68.4	60.6	64.8	67.8	57.6
廿日市市	71.2	74.2	65.6	73.0	75.9	65.9
全国	69.9	72.8	64.4	68.0	70.9	60.9

○ 経年比較（50を平均とする標準偏差）



3年生で実施した結果より
国語は0.5pt、算数は1.0pt
上昇しました。

○ 集計結果から見た本学年児童の学力状況や今後の取組

◎正答率が高い項目 ◆課題がある項目 ⇒今後の取組

〔国語〕

◎「漢字を読む」「文章を書く」

⇒日々の漢字学習や音読、毎朝のスピーチや自分の考えを書いて表現することにより繰り返し取り組むことが効果的であったと考えられるので、今後も継続して指導していきます。

◆「複数の情報を関連付けて説明する」「言葉の学習」

⇒これまでに学習してきた題材を中心に、情報を関連付けて理解したり、情報の中の必要な部分を使って説明する活動を通して再度指導します。また、主語や述語、ことわざの復習を行います。

〔算数〕

◎「計算のきまり」「角の大きさ」

⇒わからない問題についてしっかり考える時間を確保したり、ドリル学習をくり返し行ったりしたことが効果的であったと考えられるので、今後も継続して指導していきます。

◆「わり算」「垂直・平行と四角形」

⇒ドリル問題にくり返し取り組み、計算に慣れるよう再度指導します。また、四角形の性質について復習を行い、垂直や平行についての理解が深まるよう再度指導します。

今回の調査結果をもとに、一人一人の児童のさらなる学力向上を目指し、授業改善に取り組んでまいります。

ご質問等がございましたら、遠慮なく学校へお知らせください。